

取扱説明書 改訂版②

エンジンブロー

HG-EB430

**混合燃料
30 : 1**

上記以外や 25 : 1 ~ 50 : 1 のような
幅を持たせた混合燃料使用不可



初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、
内容を理解してからお使いください。

目次

はじめに	3	長期間使用しない時	20
安全上のご注意 製品を長くご愛顧いただくために		本機を2週間以上使用しない時	20
安全にお使いいただくために	4	故障と思ったら	20
ブローアーに係る安全事項	4	消耗品一覧・ご注文	22
ブローアーの作業に係る安全事項	5	保証内容について	23
安全ラベル	6	お客様ご相談窓口	24
主要諸元	7		
振動障害の防止	7		
各部の名称	8		
梱包部品一覧	9		
組立て	10		
運転前の点検	12		
混合燃料 30:1 の作り方	12		
燃料の点検・補充	13		
運転操作の仕方	14		
エンジンのかけ方	14		
アクセルトリガーロックについて	16		
エンジンの止め方	16		
作業の仕方	17		
ブローアー機能を使う	17		
点検・整備の仕方	18		
エアクリーナー	18		
点火プラグの点検	18		
キャブレターの点検	19		

はじめに

このたびはブロアーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。

 **警告** 誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。

 **注意** 誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。

 **禁止** 取扱においてその行為を禁止します。

 **指示** 指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

ブローアーに係る安全事項

警告



禁止

- 燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- 回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- エンジンの運転中や運転停止直後はエンジン本体やマフラー一部が熱くなっていますので、手・身体などを触れないでください。火傷をする恐れがあります。
- 改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- 指定された用途以外には使用しないでください。
- 正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- 未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- 操作の仕方がよく分からない成年者の独自の使用はご遠慮ください。
- 使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。
- 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近付けないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。
- 改造しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。



指示

- 自動車の室内やトランクにエンジンを載せたまま車両を放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
- 自動車で運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜いてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- 給油は、必ずエンジンを停止し十分冷えた後に行ってください。又、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- 給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- 燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- 給油は、換気の良い所で行ってください。燃料蒸気が蓄積し火災の恐れがあります。
- 給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。静電気火花によって引火の恐れがあります。
- 給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- 燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- 運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。火災の恐れがあります。
- 点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- 運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- 使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。

安全にお使いいただくために

ブローアの作業に係る安全事項

警告



禁止

- 身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は、使用しないでください。
- 動作中に回転部分に顔や手足を近付けないでください。
- ご使用時は、使用者から15m内は危険です。人や動物が入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。



指示

- 適切な時期に休憩をとってください。
- 装置から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。

注意



禁止

- 機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。
- エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。



指示

- 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、ヘルメット、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
- 長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
- 装置を長時間保管する時は、取扱説明書にしたがって保管してください。

注意

- 弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- 燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れしないでください。
- 燃料タンクに4ストローク用オイルを入れしないでください。



安全ラベル



不注意または不適切な使用で怪我をする恐れがあります。



ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。



防護メガネ、耳栓、マスクを着用してください。



常に保護手袋を着用してください。



本機はすべてのEU (欧州連合) 加盟国の基準を満たしています。



ブロアー使用時は、砂利などが跳ね返り、作業者が怪我をする可能性があります。



使用中及び使用後はマフラー周囲が高温になります。絶対に触れないでください。



ガソリンとオイルの混合比：30：1を使用してください。



本製品は、ドイツの機器・製品安全法（GPSG法）にもとづいて検査され、安全性が認証された製品です。



火気を近づけないでください。



排気ガスは人体に有害です。直接吸わないでください。



作業者は、傍観者や動物を15メートル以内に近づけないでください。同じ作業領域で作業している場合は、安全な距離を維持してください。お互いから少なくとも15メートルです。



騒音レベル 最大108デシベル

主要諸元

モデル名	HG-EB430
型式	2ストロークエンジン
排気量	43cc
燃料	混合燃料 30:1
燃料タンク容量	1.8L
起動方式	リコイルスターター方式
最大風量	12m ³ /分
最大風速	60m/秒
寸法 (本体のみ 長さ×幅×高さ)	260×410×475mm
本体重量	6.1kg
三軸合成値	2.26m/s ² K=1.7

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品 (部品やカラーも含め) の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

振動障害の防止

●1日の使用時間について

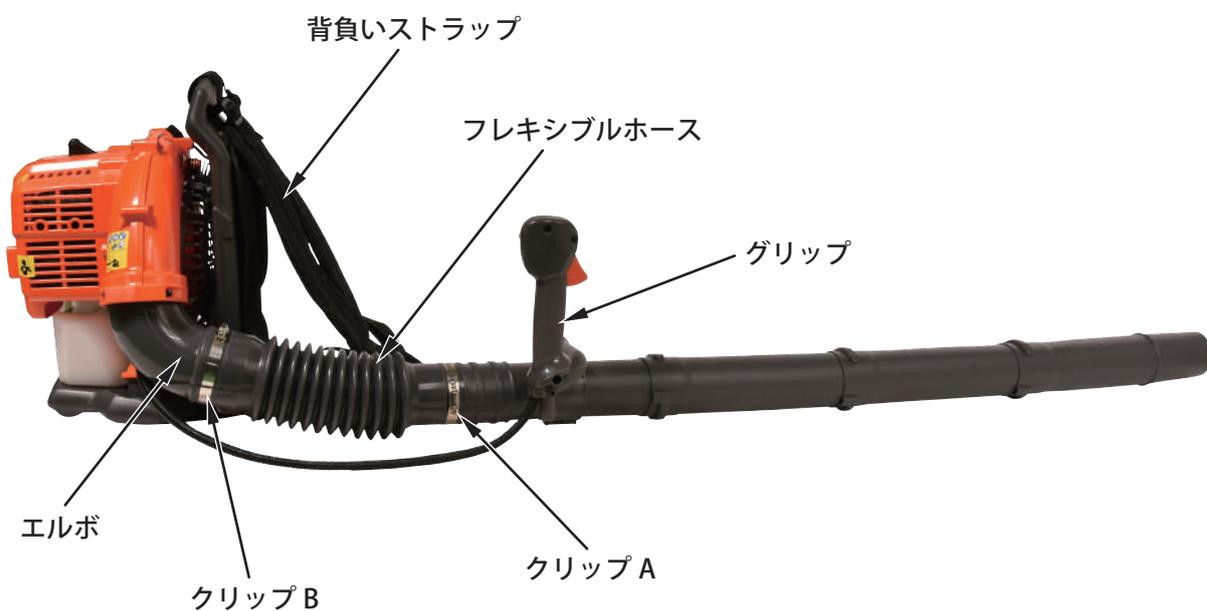
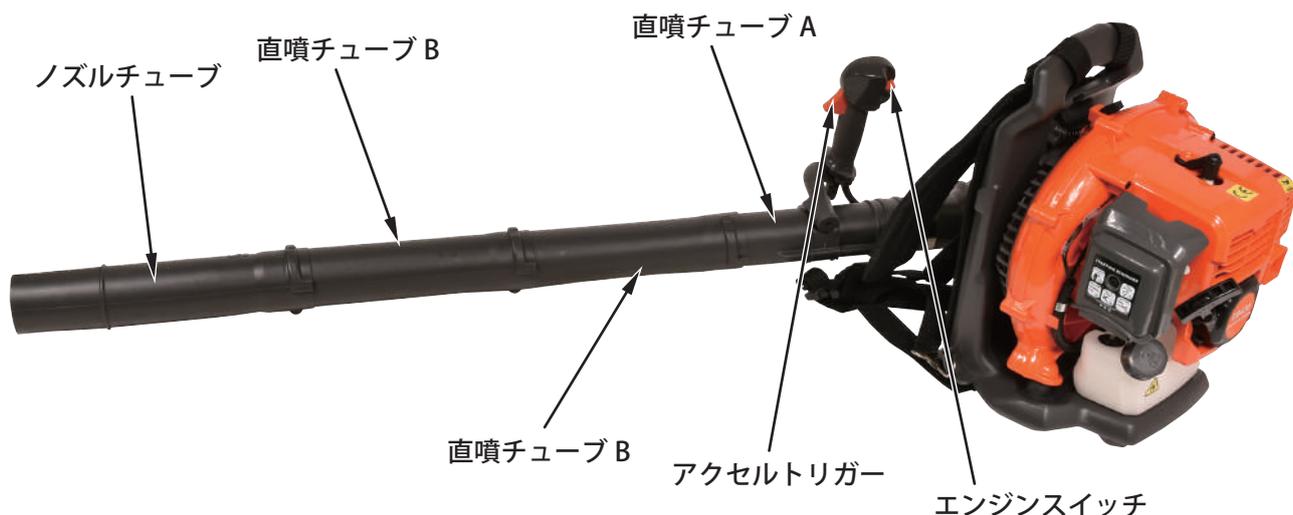
1日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

①10m/s ² より小さい場合		②10m/s ² より大きい場合	
1回の連続作業時間	10分以内	1回の連続作業時間	10分以内
1日の作業時間	2時間以内	1日の作業時間	T: 1日の最大作業時間 T=200 ÷ (a×a) a: 周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値(m/s ²)

●製造時の振動レベル維持のため

- ・定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- ・異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

各部の名称

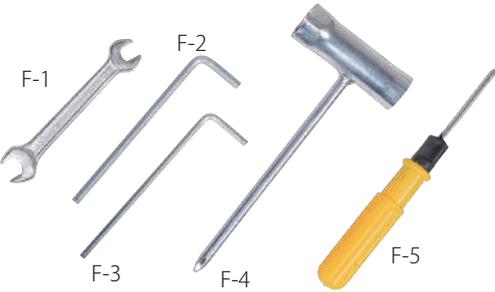


梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 装置を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

⚠ 警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体 	B. ノズルチューブ 	
D. フレキシブルチューブ 	C. 直噴チューブ A 	
F. 工具 	E. 直噴チューブ B (2本) 	
	G. クリップ 	H. 混合タンク 

※製造時期により仕様変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

組立て

⚠ 注意

- ・組立を行うときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付けていることを確認してください。
- ・組立には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。



- 1** フレキシブルチューブにクリップBをはめ、本体のエルボに挿込み、クリップBをしっかり締付けます。



- 2** フレキシブルチューブの反対側にクリップAをはめ、直噴チューブAを挿込み、クリップAをしっかり締付けます。

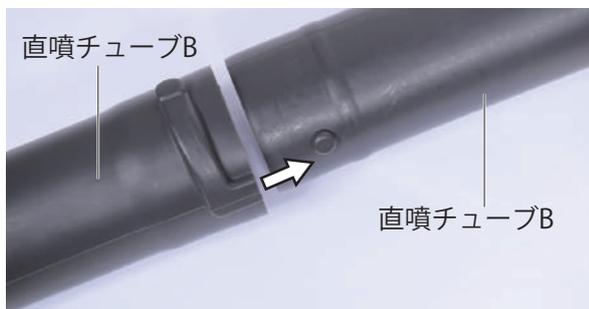


- 3** 直噴チューブBの凸溝に、直噴チューブAの凸部分を合わせて挿込み、時計回りと同じ方向に止まるまで回します。



組立て

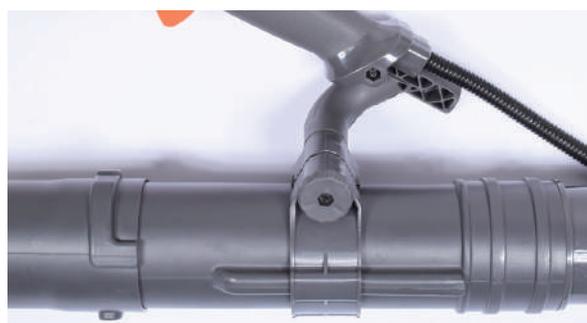
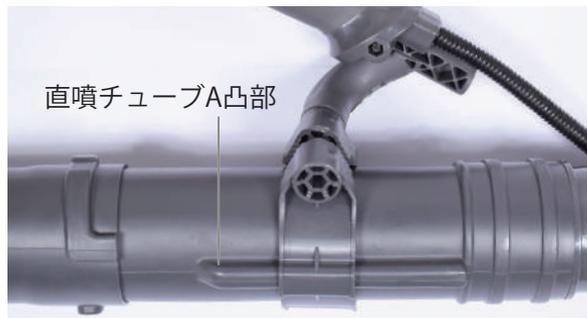
- 4** 直噴チューブBの凸溝に、直噴チューブBの凸部分を合わせて挿込み、時計回りと同じ方向に止まるまで回します。



- 5** グリップ取付けリングのノブを一旦外します。



- 6** 直噴チューブAの凸部分にグリップ取付けリングの溝部を合わせ、ノブを締付けます。



- 7** グリップ取付けリングのノブを緩めることで、グリップの角度を変えることができます。



- 8** 背負いストラップの先端にあるフックを、本体の取付穴に通します。



運転前の点検

警告

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。 所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2サイクルエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

注意

- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイルを入れないでください。



混合燃料 30:1 の作り方

市販の25：1～50：1というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。
エンジン焼き付きの原因になります。

- 1 ガソリン、オイル、混合タンクを準備します。
 - ・無鉛レギュラーガソリン
 - ・2ストローク用オイル JASO FC
 - ・付属の混合タンク

- 2 混合比30:1の燃料600mlの作り方
混合タンクに表示してある「GAS」のラインまで無鉛レギュラーガソリンを入れ、2ストローク用オイルを「OIL 30:1」のラインまで入れます。



無鉛レギュラーガソリンは ここまで入れる 2ストローク用オイルは ここまで入れる

- 3 混合タンクのキャップをしっかり締め、混合タンクを振り、カクハンします。

運転前の点検

燃料の点検・補充

使用燃料	混合ガソリン(30:1)
------	--------------

燃料（混合ガソリン）の量を点検します。

■点検手順

- 1 混合ガソリン (30:1) を準備します。
- 2 燃料キャップ面を上にして開けます。



- 3 混合ガソリン(30:1)を少しずつこぼさないように給油します。
- 4 補給後、給油キャップを確実に閉めます。

運転操作の仕方

警告



禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。



指示

- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・装置から離れる時は必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

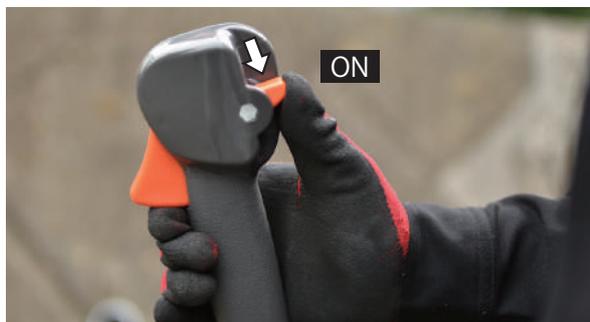
注意

- ・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

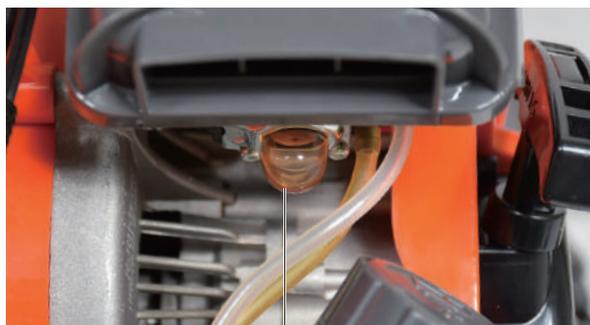
エンジンのかけ方

■寒い時やエンジンが冷えている時のかけ方

- 1 エンジンスイッチを ON にします。

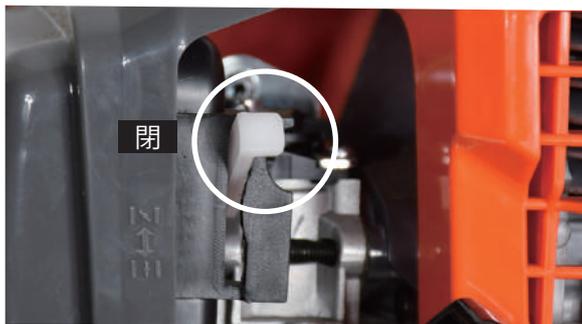


- 2 プライマリーポンプ（エアクリーナーの裏側にあります）を5～6回繰り返し押し、燃料が来ていることを確認します。



プライマリーポンプ

- 3 チョークレバーを「閉」方向に動かします。



- 4 本機をしっかり保持し、リコイルスターターロープを引きます。
※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ 60～70cm 引きます。（ロープは一杯に引ききらないでください。）引きが少ないとエンジンはかかりません。



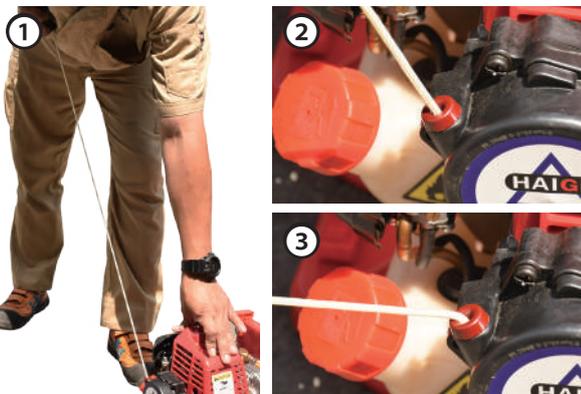
注意

何度もチョークを閉じたままリコイルスターターロープを引くと、点火プラグを濡らしてしまいます。万が一、濡らしてしまった場合は、P.21 をご覧ください。

運転操作の仕方

👉 リコイルの引き方ポイント

※写真は別機種



- ① 良い例：約70cm引いている所。
- ② 良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。
- ③ 悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

5 初爆(ボンボンという爆発音)があり、そのままエンジンがかかればチョークレバーを「開」方向に合わせます。

▶ 爆発音のみで始動しない場合、すぐ止まってしまう場合は、チョークレバーを「閉」に戻して、リコイルスターターを引きます。

注) チョークレバーを「閉」の状態、リコイルスターターを引続けると燃料を吸い込みすぎて、エンジンが始動しにくくなります。



6 エンジンが作動したら、10秒間作動させ、暖気運転をします。

■ 暖かい時やエンジンが温まっている時のかけ方

1 エンジンスイッチを ON にします。



2 プライマリーポンプを5~6回繰り返し押し、燃料が来ていることを確認します。



3 本機をしっかりと保持し、リコイルスターターロープを引きます。

※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ 60~70cm 引きます。(ロープは一杯に引ききらないでください。)引きが少ないとエンジンはかかりません。



4 アクセルトリガーを引くとエンジンの回転が速くなります。



運転操作の仕方

アクセルトリガーロックについて

1 アクセルトリガーをいっぱいに引いてからスイッチを下げると、アクセルトリガーが固定され連続運転します。

• 解除させるには、スイッチを戻すとアクセルトリガーも戻ります。



エンジンの止め方

1 アクセルトリガーより手を放し、低速運転にします。



2 エンジンスイッチを OFF 側に押しします。



作業の仕方

警告



禁止

- 身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は、使用しないでください。
- 動作中に回転部分に顔や手足を近付けないでください。
- ご使用時は、使用者から15m内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、刃刃に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 髪の毛、衣服等を回転部分に近付けないでください。



指示

- 適切な時期に休憩をとってください。
- 装置から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、ハンドルを持って運搬してください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。

ブロアー機能を使う

- 1 作業場所にある石や空き缶、木片、障害物を取除きます。
- 2 エンジンを始動します。(P.14参照)
- 3 本機を背負います。事前にストラップの長さを調整してください。
- 4 操作しやすい位置にグリップの角度を調整します。



- 5 アクセルトリガーを引き、風量の状況をみながら、エンジンの回転を調整します。

- 6 ノズルチューブを地面に近付け、風上から作業を行います。



点検整備の仕方

警告

- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近付かないよう配慮をお願い致します。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

エアクリーナー

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどい時はよく洗います。

■点検手順

- 1 エアクリーナーカバーの六角ボルトを、付属の六角レンチで反時計回りに回すとカバーが外れます。



- 2 エアフィルタの汚れをエアガンやエアダスター等で吹き飛ばします。



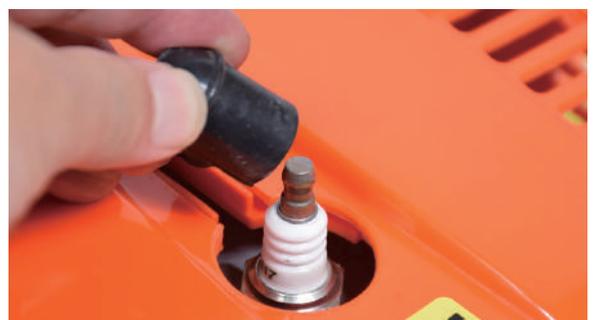
- 3 エアフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。
- 4 取外しと反対の手順で取付けます。

点火プラグの点検

点火プラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃してください。

■点検手順

- 1 プラグキャップを取外します。



点検整備の仕方

- 2** プラグレンチで、点火プラグを取外します。



- 3** 電極の周辺にオイルや堆積物が付着している場合は、清掃します。



隙間は
0.7mm~0.8mmが
適切です。



適応点火プラグ	BPM7A(NGK)
---------	------------

- 4** 取外しと反対の手順で取付けます。

キャブレターの点検

エンジンが吹き上がらない、アクセルを上げた時にエンジンが止まる、そんな時は、下記の要領でキャブレターを調整してください。

- 1** 現時点の位置から反時計回りに1回転させることで、吹き上がりが良くなります。

- 2** 上記で調子が悪くなった場合は、時計回りに2回転させることで、良くなります。



※回転位置が分からなくなった場合は、時計回りに止まるまで回し、その位置から反時計回りに1回転半で元の位置に戻ります。そこから再度調整をしてください。

■アイドル調整

暖機運転後、アクセルトリガーを放した状態でもエンジンの回転数が高い場合は、アイドル回転を下げてください。

- 1** ドライバーをアイドル調整穴に挿込み、アイドル調整ネジを回します。

右に回すと回転が上がります。左に回すと回転が下がります。



長期間使用しない時

本機を 2 週間以上使用しない時

- 1 燃料タンクから燃料を抜きます。
- 2 エンジンをかけ、燃料切れで停止するまでアイドリングで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1か月以内に使い切ってください。（燃料は使う前によくカクハンしてから使用してください。）
- 3 エンジンスイッチをOFFにしてください。
- 4 チョークを閉じます。
- 5 各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 6 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

故障と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良	交換
	②点火プラグ不良	交換 (P.18 参照)
	③点火プラグキャップ接続不良	調整
	④イグニッションコイルの不良	交換
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料が入っていない	燃料を入れる
	②燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	③燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除 (知識のある方のみ)
全くエンジンがかからない	①燃料タンクに 30 : 1 の混合燃料以外を入れている	燃料を出し、清掃し燃料を交換する

●エンジンはかかるが、すぐに停止したり、停止しそうになる

	①エアフィルタの汚れ	清掃又は交換
	②キャブレターの調整不良	調整 (P.19 参照)

故障と思ったら

点火プラグの点検

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締付けています。

先端が濡れている

先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

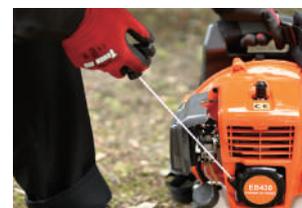
②外したプラグをキャップにしっかり取付けます。



③スイッチを入れます。



④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

プラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

消耗品一覧・ご注文

商品名	商品コード		価格(税抜)	注文個数
イグニッションコイル	eb430-01-p29n		3,730 円	
リコイルスターター	eb430-01-p42n		3,142 円	
キャブレター	eb430-01-p08n		4,713 円	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

※価格は改定される場合があります。

※電話・FAXでのご注文は、代金引換での販売となります。

代金引換手数料	
10,000 円未満	300 円
10,000 円～ 30,000 円(税別)のご注文	400 円

送料	
10,000 円以上(税別)のご注文	無料
10,000 円未満(税別)のご注文	一律 800 円

※別途消費税がかかります。

★FAX でのご注文の場合は、上部表右の注文個数を記入し、
下記に必要事項をご記入の上送信してください。

記入日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

お客様情報				
フリガナ				
氏名 会社名	様			
ご住所 お届け先	〒	—		
電話番号		FAX 番号		
お届け先情報 (お客様情報と異なる場合はご記入ください。)				
フリガナ				
氏名 会社名	様			
お届け先	〒	—		
電話番号		FAX 番号		

FAX.0276-55-2276

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
 - (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
 - (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

⑤お見積り提示。

⑥送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
 - ③故障内容の確認
 - ④故障装置の修理
- *1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

- お問い合わせ先：下記カスタマー・サポート・センター

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト ▶ <http://www.haige.jp/agency.html> ハイガー修理 検索

本店サイト ▶ <http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト ▶ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日
無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



ハイガー産業 株式会社

〒370-0503
群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

ハイガー 検索

<http://www.haigeshop.net/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

重要なお問い合わせ

0276-55-2275

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が続いております。ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。
お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。

受付：月曜日～金曜日 10:00～17:00 第1・第3・第5土曜日 10:00～12:00
受付中止：平日 12:00～13:00 ©定休日：第2・第4土曜日、日曜日、祝祭日